
※2021年度(2022年3月期)決算説明資料抜粋

中期経営計画 「プログレッシブ プラン2025」

計画実施期間 2022～2025年度

2022年5月25日

前中計「プログレッシブ プラン2021」振り返り

基本方針

－戦略投資と着実な「質の向上」による安定継続成長－

- ・成長分野をターゲットとしたグローバル化とカスタム対応力の向上
- ・業績変動の緩和と次代の成長のための新分野事業の開発

- ・2018年度に過去最高業績となり、営業利益目標を達成
- ・2019年度、2020年度は米中摩擦や新型コロナウイルス感染拡大により事業環境が悪化
- ・2020年度後半から受注は回復し、2021年度は過去最高の受注高となったが部品調達難により収益につながらず

前中計「プログレッシブ プラン2021」 経営目標と実績

(百万円)

	中計2017	中計2021				
	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2021年度 当初目標
売上高	44,069	50,580 12ヵ月47,060	42,443	38,668	41,852	52,000
営業利益	4,602	5,827 12ヵ月5,470	3,742	2,572	1,968	5,200
営業利益率 (%)	10.4%	11.5% 12ヵ月11.6%	8.8%	6.7%	4.7%	10.0%
ROE(%)	8.6%	10.5% 12ヵ月9.9%	6.6%	4.5%	4.2%	8.5%
海外売上高 比率	44.2%	51.0% 12ヵ月47.5%	43.9%	46.1%	50.4%	50%
<参考> 為替レート (USドル)	112円	110円	108円	106円	112円	110円 (想定)

※2018年度は、海外連結子会社の決算対象期間が15ヵ月となる変則決算。12ヵ月の場合の参考値も記載しています。

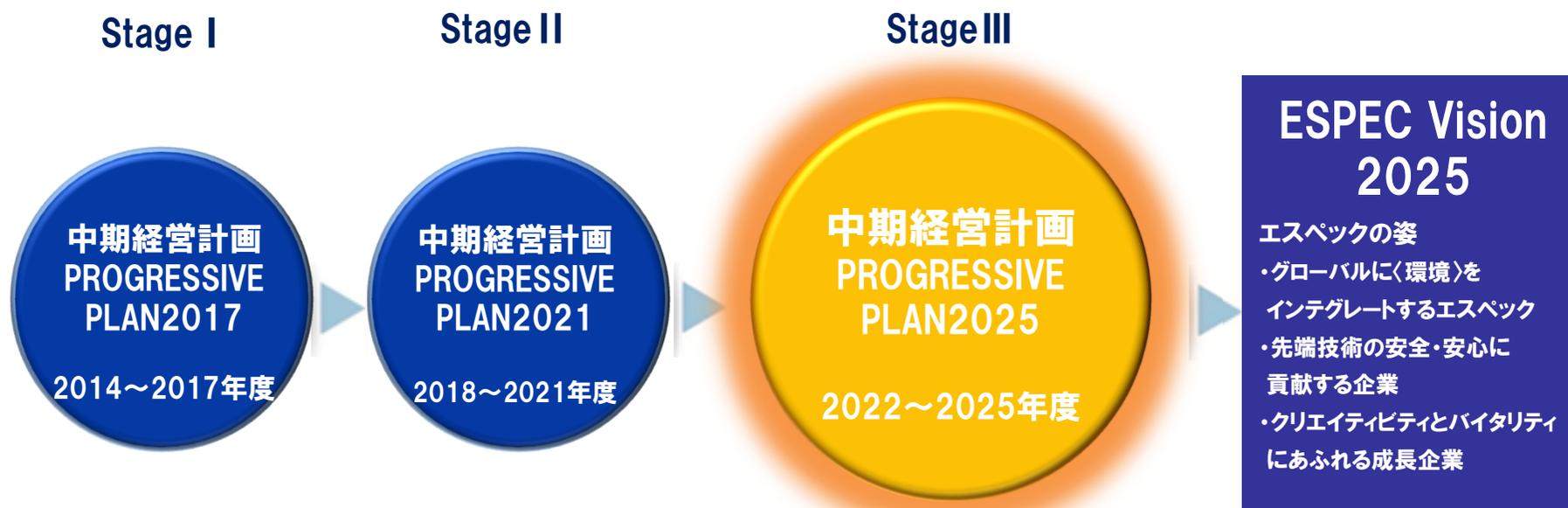
前中計「プログレッシブ プラン2021」成果と課題

ターゲット市場である先端技術分野において受注・売上を拡大し、デジタル化・脱炭素社会に向かって成長する事業の基盤づくりができた。経営環境が急激に変化するなか対応力強化が課題

中計2021の重点戦略	中計2021の成果	経営課題
装置事業 ・自動車、IoT分野での拡大 ・環境因子技術の拡充 ・新規分野事業の開拓	・IoT分野での受注拡大 ・カスタム製品の収益改善 ・オープンイノベーションの推進 ・M&Aによる液流制御技術獲得 ・ワクチンコールドチェーン向け製品投入	・先端技術分野ニーズの先取り、商品化 ・グローバル化のさらなる推進
サービス事業 ・サービスメニュー開発 ・受託試験事業の拡充	・ITを活用した新サービスの拡充 ・受託試験設備の増強、サービス拡充	・エネルギーデバイス装置、半導体関連装置の販売拡大 ・新規事業の収益化
グローバル ・マーケティング強化 ・ものづくり体制強化	・中国事業の拡大 ・欧州市場の開拓 ・東南アジアの技術サポート体制強化 ・生産能力の拡充(日本・米国)	・安定調達
経営基盤強化・ESG ・環境中計推進、SDGs貢献 ・人材育成、ダイバーシティ ・コーポレートガバナンス強化	・サステナビリティ方針策定、重要課題特定 ・気候変動対策の強化、CDP Bスコア ・教育制度拡充、シニア社員活躍推進 ・CGコードへの対応	・サステナビリティ経営の推進 ・組織の活性化と人材育成 ・グループのガバナンス強化

新中計「プログレッシブ プラン2025」の位置づけ

「ESPEC Vision 2025」の実現に向けて、Stage I ~ IIIの4カ年ごとの中期経営計画を策定・実行
2022年度をスタートとする新中計は最終ステージであり、戦略を着実に遂行しビジョン実現を目指す



新中計「プログレッシブ プラン2025」全体構成

基本方針

個と職場の慣性と惰性を打破し、先端技術の実用化に貢献する

- ・IoT・次世代自動車市場に貢献する商品・サービス提供に向けた積極的な成長投資
- ・ビジネスチャンスと不測の事態に対する変化対応力を高める

中期経営戦略

1. 環境試験事業戦略
 2. グローバル戦略
 3. 新規事業戦略
 4. モノづくり改革とDX戦略
-
5. 組織開発・人材開発戦略
 6. 経営基盤強化戦略
(環境・社会・ガバナンス)

新中計「プログレッシブ プラン2025」 経営目標

	2021年度 実績	2025年度 目標	増加率
売上高	418億円	550億円	+30%
営業利益	19億円	70億円	+260%
営業利益率	4.7%	12.7%	+8pt
ROE	4.2%	10%	+5.8pt

<参考> 為替レート(USドル) 2021年度実績112円 2025年度想定115円

事業セグメント別 経営目標

(百万円)

項目	事業セグメント	2021年度 実績	2025年度 目標	増加率
売上高	装置事業	34,518	45,900	+30%
	サービス事業	6,407	7,700	+20%
	その他事業	1,188	1,800	+50%
	消去	△261	△400	-
	計	41,852	55,000	+30%
営業利益 [利益率(%)]	装置事業	1,370 [4.0%]	5,950 [13.0%]	+330%
	サービス事業	618 [9.7%]	1,000 [13.0%]	+60%
	その他事業	△23 [△2.0%]	50 [2.8%]	-
	消去	2	0	-
	計	1,968 [4.7%]	7,000 [12.7%]	+260%

重点市場(先端技術分野)



デジタル化・脱炭素化



IoT分野

高速データ通信
携帯端末、基地局

最先端半導体
高速グラフィックデバイスなど

データストレージ
メモリ、サーバー

次世代自動車分野

電動化
バッテリー、パワー半導体、モーター

自動化
カメラ、ミリ波レーダー、LIDAR

コネクテッド化
車載ネット端末、ディスプレイ

環境試験のトータルコーディネーターへ！
装置・サービス・技術で高度化する試験需要を獲得

高度化する試験の拡大

高発熱
急速な温度変化
大型化



1. 環境試験事業戦略 装置事業セグメント

装置事業

「世界の先端技術にとって不可欠な存在！」

- 1 重点先端技術分野（IoT、次世代自動車）の製品ラインアップの拡充
- 2 カスタム製品のグローバルでの競争力強化と新市場開拓
- 3 オープンイノベーションの推進による新環境因子技術の拡充

中期経営目標

（百万円）

	2021年度 実績	2025年度 目標	増加率
売上高	34,518	45,900	+30%
営業利益 [利益率(%)]	1,370 [4.0%]	5,950 [13.0%]	+330%

1. 環境試験事業戦略 サービス事業セグメント

サービス事業

「お客さまの面倒くさいに貢献！」

- 1 お客さまの悩みを解決するトータルテクニカルサポート業への転換
- 2 先端技術分野向け試験の拡充と試験技術の高度化

中期経営目標

(百万円)

	2021年度 実績	2025年度 目標	増加率
売上高	6,407	7,700	+20%
営業利益 [利益率(%)]	618 [9.7%]	1,000 [13.0%]	+60%

2. グローバル戦略

グローバル事業

「世界の先端技術開発に貢献！」

1 中国、韓国、欧州におけるマーケティングの強化

	2021年度 実績	2025年度 増加率目標
中国	90億円	+50%
韓国	15億円	+100%
欧州	18億円	+50%

3. 新規事業戦略

新規事業

「新たな事業の柱を確立！」

1 新規事業の基盤確立と新たな分野へのチャレンジ

医薬品コールド
チェーン事業

食品機械事業

サーマルソリュー
ション事業

生物多様性
ビジネス

4. モノづくり改革とDX戦略

モノづくり改革

「新ニーズへの一番乗りを実現するモノづくり！」

- 1 デジタル技術による先進的カスタマイズモノづくり

DX戦略

「ビジネスモデルの変革！」

- 1 データ活用による顧客接点強化と社内情報蓄積・共有
- 2 デジタル技術によるビジネススタイルの刷新

5. 組織開発・人材開発戦略、6. 経営基盤強化戦略

組織開発・人材開発

「クリエイティビティとバイタリティにあふれる成長企業へ！」

- 1 企業理念の浸透と自律的な社員が育つ組織づくり
- 2 リーダーシップ改革と学び直しの推進
- 3 DX、グローバル人材育成と多様な社員の活躍推進

経営基盤強化

「持続的成長を支える基盤づくり！」

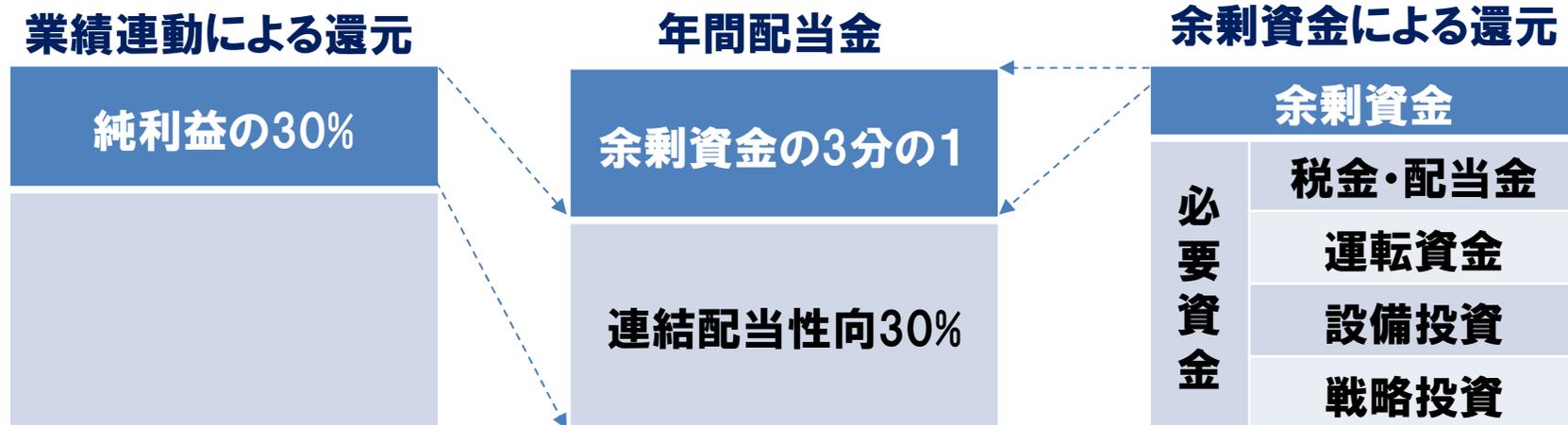
- 1 安定調達と品質システムのレベルアップ
- 2 持続的で健全な成長を支えるコーポレートガバナンス
- 3 第8次環境中期計画の達成

財務戦略と株主還元

- 収益性と効率性の向上をはかり、持続的成長に向けた成長投資（M&A含む）を積極的に行う
- 財務基盤の安定と資本効率の向上を目指す 目標:ROE10%
- 必要な内部留保の水準を考慮しつつ、自己株式取得を機動的に実施する

<配当基本方針>

配当性向30%に加え、予定必要資金の超過金額の1/3を目途に上乗せする



※安定配当として年20円の配当金を利益水準に関わらず維持するが、2期連続で最終赤字の場合は見直しを行う

第8次環境中期計画(2022～2025年度)

基本方針

グリーンテクノロジーを開発されているお客さまへの事業を通じた貢献

地球温暖化対策および生物多様性保全活動を中心に強化

<2025年度 目標>

- SCOPE3 CO₂排出量を2019年度比10%削減
- SCOPE1+2 CO₂排出量を2019年度比55%削減
- エスプレックミック植樹本数50,000本・CO₂固定貢献95t（累計）
- 兵庫県三田市「法人の森」運営による生物多様性保全活動

投資計画

	2018~2021年度 実績	2022~2025年度 目標	増加率
戦略投資	43.5億円	60~65億円	+40~50%
通常投資	18億円	30~35億円	+70~90%
合計	61.5億円	90~100億円	+50~60%
研究開発費	48億円	60億円	+25%
人材投資	2.8億円	4.8億円	+70%

主な投資内容

生産能力拡充や効率化、受託試験設備の拡充、
新サービス拡充、M&Aなど

**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。**

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

サステナビリティ推進部 部長 中川

IR・広報グループ 大川・姜